

August 2015
(平成27年)
Since 1950
No.705



元気なまちを
あなたとつくる広報紙
SHINTOKU TOWN
SHINTOKU TOWN
<http://www.shintoku-town.jp/>

特集

若者の力でまちを盛り上げろ！
～新得町若者大作戦事業～

7月8日 新得保育所 みんなでバシャバシャ水遊び！

若者のかでマチを盛り上げる！

新得町若者大戦略事業



写真後左から鶴沼俊介さん、鳥本純平さん
写真前左から鳥本健太さん、友定雄平さん

町観光協会が立ち上げた「新得町若者大戦略事業」。
若者自らが企画・実行する野外フェスティバルの「ガンケフェス」と動画ロケの「中国観光客誘致事業」の2つが採択されました。
若者の『やりたい』を形にできる。支えるまちづくり、若者を支援する取り組みが始まっています。



「若者の『やりたい』を応援したかった」

町産業課観光係 東田麻未さん
(道職員。昨年から町に派遣中)

「若者の『やりたい』を形にできる。支えるまちづくりを行いたい」という考えがあった」と話すのは、『若者大戦略事業』を企画・担当する町産業課観光係の東田さん。

この事業は、若者が若者らしい目線で企画し行う事業に対して経費の一部を助成し、地域課題の解決や地域の活性化創出活動などの多彩な取り組みによって生まれる「新得の魅力」に磨きをかけ、観光客に選ばれる町、また来客を増やす町を目指す。「若者たちを主体とした取り組みによって、町外からの来訪客が増加することによる経済効果」、「来訪客に新得の魅力を提供することによる町外への情報発信」などが期待されるとしている。

東田さんは「昨年、ガンケフェスに参加させてもらい、地元が若者が主体となって企画・実行する既存の枠に捕らわれない取り組みが盛り上がりを見せていると感じた。また、『若者がやりたい』ことに対し、町がフォローし、初期段階のきっかけづくりができれば、『町の活性化には若者の声を聞いた方がよい』など町民の方からの声を参考に事業を考えたい。派遣で新得町に来る前はあまり聞けなかった住民の生の声を、新得町に来てから聞く機会が増えた。私自身も若者として、その声を少しでも町の行政に反映したかった。やりたいことはあるけど、できないからこの町にいてもつまらないと感じることがないようにしたかった」と話す。

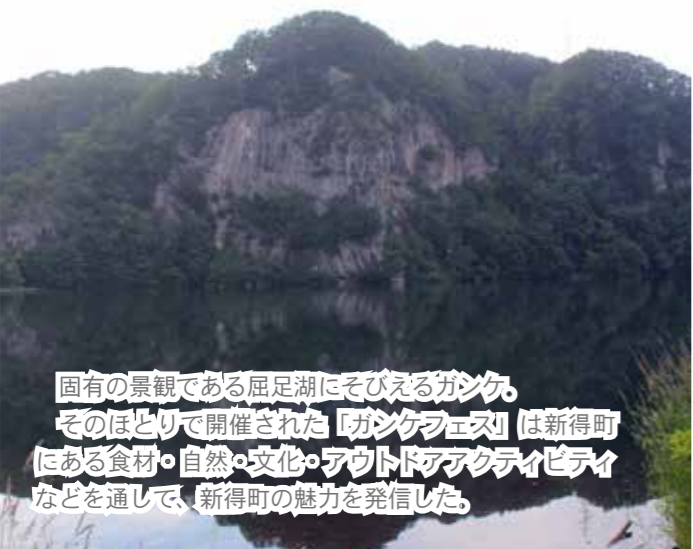
「新得町にずっと住んでいく若者の意見を反映していく。自分の必要性が目に見え、手応えを実感できる環境づくりによって、自分の町が好きになり、自分の町を誇りに思う人が増えるのではないかと。この先何十年も新得町で過ごすというのには今の若者たち。その若者たちが新得町に住み続けたい、と思えるためにはやはり、当事者である若者の意見を重視することが大切だと考えている。今回、この事業に採択された2つの事業を起爆剤として、自分もやりたいと思う人がどんどん増えて欲しい」と期待する。

ガンケフェス

「新得町を好きになってほしい」
ガンケフェス

代表 友定雄平さん (酪農業)

「新得町をPRできる良い場所がないか」といろいろと探していたら崖(ガンケ)にたどり着いた。湖があって、温泉があって、クワイミングクラブがあって、広場があって。きれいだし、アイヌ神話もあって、めちゃくちゃおもしろいじゃないかと思ってここで何かをやろうと思っただよね」と話すのは、友定さん。友定さんは、同じ牧場で働く鳥本純平さんとは幼なじみで、2人で「新得町はつまらない、かっこよくない、おもしろくない」から、町を盛り上げられるような面白いことをやりたいねと度々話していたことがきっかけで、2010年からTORIXSADA(トリサダ)という名前で、今までの新得にはない音楽イベントやフリーマーケットなどを企画し実施してきている。



固有の景観である屈足湖にそびえるガンケ。そのほとりで開催された「ガンケフェス」は新得町にある食材・自然・文化・アウトドアアクティビティなどを通して、新得町の魅力を発信した。

ガンケフェスについては「固有の景観であるガンケを軸として、音楽やアート、新得町にある食材・自然・文化、ラフティングやカヌーなどのアウトドアアクティビティなどを通して、新得町の美しさや魅力を町民や町外の人に『こんなに魅力がある場所なんだ』と思ってもらいたいという思いから企画した」と意図を話す。



ガンケフェスで行われたライブ

んだよね。実際、やってみたら楽しかった。思惑どおり、『新得もおもしろい』、『場所もすごい良い』といった声も聞こえた。今回の開催でまたつながりが増えたから、今後もしいろいろと面白いことができたらいいんじゃないか」と話している。続けることにより、常に新しいことが見つかるので、このイベントをできる限り継続して、将来は今よりグローバルな視点で町を盛り上げたい。イベントを通して若者のつながりを広げて地域活性化の起爆剤にもしたいですね」と今後の展望を語った。

この取り組みに賛同し協力をした町内のアウトドア事業者「とかちアドベンチャークラブ」代表の野村竜介さんは「地元若者が新得を盛り上げようというイベントをやっているのは、まず驚きだったね」と話す。「僕らの仕事も基本的には新得の良さを発信する仕事。友定くん達の商売抜きで新得の良さを伝えようという思いに賛同したので、やれることはやるつもりでガンケフェスに参加したんだよね。新得を盛り上げようという思いがある人がいることが地域の宝。民間として応援したいし、本人達の熱意が下がっていかないように町がバックアップしてもらえればと思う。時間をかけて、エネルギーをかけて、けっこう大変な思いをして段取りしているのを見ていながら応援したいんだよね」との思いも話してくれた。



とかちアドベンチャークラブ 代表 野村竜介



健康だより

NO. 39

「がん」から自分を守るために

今や日本人の2人に1人が「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で亡くなる時代です。

？ がんを防ぐには、どうするの？

がんの原因は、「**食事や肥満**」「**たばこ**」「**飲酒**」「**感染症**」などが関係していると言われています。がんを防ぐには、運動や食生活など、**がんのリスクを下げる「良い生活習慣を取り入れる」**ことが大切です。



？ 自分で気づくことができる、がんの症状はありますか？

胃がん ●胃痛 ●胸焼け ●黒い便など	肺がん ●治りにくいせき ●血たん ●息切れ ●声のかすれ ●胸痛など ★がんの特徴を知っておきましょう	子宮頸がん ●不正出血 ●月経異常など
大腸がん ●血便 ●腹痛 ●便が細くなる ●下痢と便秘のくりかえしなど	乳がん ●しこり腫れ ●腕のむくみしびれなど	

がんの中でも、**乳がん**は、早期に自分で見つけることができます。たんねんに触ると、他の部分とは**違う硬いもの・しこり**を感じることができます。

★乳がん自己検診point

指で触る範囲は、胸部～脇まで広く

上は、鎖骨の下から
下は、肋骨の下まで。
内側は、肋骨中央から
外側は、わきの下まで。



検診スケジュール

がんから自分を守るために、検診スケジュールをたてましょう

★胃がん ★肺がん ★大腸がん	▶30歳以上 1年に1回	(女性)	★乳がん ▶40歳以上 ★子宮頸がん▶20歳以上	} 2年に1回
		(男性)	★前立腺がん▶50歳以上	1年に1回

選択...

がんと言われたら... 考えること 決めること たくさん...

治療 仕事 病院 家族 ①

治す道も人それぞれ どの道を選ぶのか... **ゴール**

放射線 薬 手術 ②

検診もどうする?... **受ける? 受けない?**

③

生活習慣も どうする?... **良い生活習慣を 取り入れる? 取り入れない?**

④

自分の人生を楽しむ ために... **選択をしよう!!**

⑤



フェスでのスタンドアップパドルとカヌー

ガングフェスでは、新得の魅力の一つであるフライングやカヌーなどのアウトドアアクティビティをPRした。「新得でもアウトドアアクティビティをやっていることを知らない人もいる。もうちょっと町内の人にも知ってもらおう努力をしていきたい。十勝全国の人に新得の魅力を伝えるのが役目だが、まだやるべきことは多い」と語る。

「インターネット上での動画コンテンツを使って、自分たちの手で新得を国外へ向けて発信したい。自分たちの町や商品などを気軽に世界へ向けて発信できるという事例を示して、若者の意識が道外や海外へ向かうようになってきた」と話すのは、代表の鶴沼さん。この取り組みは、屈足出身で同級生の兄でもあり、現在、上海に在住している鳥本健太さんと企画し、ここ数年、中国の若者に影響力を強めているインターネット上の動画コンテンツなどを活用し、若者が慣れ親しんでいるメディアを使うことによって、効果的に新得町の魅力を中国人にPRし、中国に潜在的な観光客への需要喚起を目指している。



代表 鶴沼俊介(酪農業)



中国の若者の間で著名な動画制作者である山下智博さんらが町内観光体験施設を周りながら動画を撮影。動画は、8月上旬に中国国内の動画プラットフォームにて配信。また、中国最大旅行SNSにも旅行記を投稿する。

「自然」「温泉」など漠然としたイメージしかない。中国の若者の間で有名な動画制作者の山下智博さんは、中国ですでにインターネット上の動画コンテンツに膨大な視聴者数を抱えている。その人を起用し、新得町の観光地や特産品を体験してもらい、その様子を動画として配信する。確実に数十万人の中国の若者に届けることができると思う。将来的な外国人旅行者の増加による町の活性化、多国籍の若者同士の交流を目指していきたい」と鶴沼さんは語る。

Rできて、新得に來たいと思ってくれる人がいて、新得が活気付いてくれたらいい。まだ実現するかわからないけど、冬バージョンも撮ってみたい」と意気込みを語った。

若者の「やりたい」を応援します

今回「新得町若者大作戦事業」で採択された2つの事業は「観光部門」(地域の課題解決、または地域の活性化により、観光客の誘客が期待できる事業)のものとしたが、観光部門だけではなく、「食・マーケット部門」(積極的に地場産品を活用し、地産地消を目指すこと)により、それを目的に来訪する観光客の誘客が期待できる事業)でも事業を募集しています。

※今年度の募集は終了

※来年、再来年も実施予定

自分の「やりたい」ことがある人はその思いを実現させてみませんか?

自分たちの企画と行動力が新得町の新しい魅力発信と地域活性化のきっかけとなるかもしれません。

問い合わせ

新得町若者大作戦事業に関して何かありましたら町産業課観光係まで気軽にお問い合わせください。

応募に関しての相談も受付中です。



氷上かけそば朝食大会

↑ 7月26日
第22回新得そばの里まつり

氷上かけそば朝食大会やそばの実割り箸つまみなどなど...
雨の中でしたが、様々なイベントで盛り上がりました!



そばの実割り箸つまみ

↓ 7月30日 ユースフェスティバル 新得町サッカー教室



2015 第12回新得町ユースフェスティバル
コンサドーレユース 新得町サッカー教室

今年もコンサドーレユースの方々にサッカーを教えてもらいました!
目指せプロサッカー選手!!!

↓ 8月2日 第32回親子ラジオ体操の集い



早朝から外で運動するのは気持ちいい♪
友だちや家族と一緒に
「いち、に、さん、しー!」

カブトムシの2m競走やクワガタのレスリング、
カタツムリやバッタの競争。優勝は誰かな?



↑ 8月2日 昆虫スポーツ大会

どんな昆虫や植物がいるかな?
ミッションやクイズに正解してポイントをゲット!



↑ 8月3日 拓鉄公園自然探索

夏真っ盛り! ~楽しかった夏のイベント~

↓ 7月3日 ワイワイ・ビアパーティー



新得会場は好天に恵まれ、客足も上々!
屈足では雨にも負けず盛り上がり
ました!



↑ 7月25日 屈足さわやか
ビールパーティー

↓ 7月10日 新得幼稚園 セタまつり



↓ 7月17日 屈足保育園 夏の夕べ



↑ 7月24日 新得保育所 セタ交流会

盆踊りや楽しいイベントで過ごす一日♪
短冊に書いたお願い事、
叶うといいね!!

↓ 7月31日 ビーバーたなばたまつり



プール遊びに花火、縁日、
夏の定番イベント!
スタッフの仕事も体験しました!



↑ 7月3日 トムラウシこじか園 セタ会



戦没者追悼式が7月10日、町公民館で行われ、遺族や来賓など約70人が参列し、町内の戦没者214人の御霊に哀悼の意を捧げました。浜田正利町長が「先人達の努力により、70年もの長きにわたり、戦争のない平和な日々を過ごさせている。戦没者の御霊を前に世界の恒久平和を願うと共に、全町民が未来へと続く町づくりを進めていくことを誓う」と式辞。

町遺族会の北敏夫会長は「二度と悲惨な歴史を繰り返すことのない、世界の平和を願いながら、町民一人ひとりの幸福と健勝を目指し努力していく」とあいさつしました。

戦没者214名の御霊に誓う恒久平和 戦後70年 町戦没者追悼式



町地域医療講演会「人生の最後まで安心して新得で暮らすために」が7月27日、屈足総合会館で開かれ、約30人が参加しました。

第一部では、認知症の高齢者への声かけ方法を学んだ後に模擬訓練として、事前に知らされた特徴をもとに認知症高齢者役を演じ、声かけを行い、どのような反応が返ってくるかを学びました。

訓練後の感想としては、「声かけは難しかった」、「思ったより反応が返ってこない」といったもののほか、「普段から声かけを大事にしたい」といった前向きな感想も聞かれました。

人生の最後まで安心して新得で暮らす 新得町地域医療講演会



高齢者役（写真左2番目）と会話をする参加者

認知症ささえあい講座（町地域包括支援センター主催）が7月27日、屈足総合会館で開かれ、約30人が参加しました。

第一部では、認知症の高齢者への声かけ方法を学んだ後に模擬訓練として、事前に知らされた特徴をもとに認知症高齢者役を演じ、声かけを行い、どのような反応が返ってくるかを学びました。

訓練後の感想としては、「声かけは難しかった」、「思ったより反応が返ってこない」といったもののほか、「普段から声かけを大事にしたい」といった前向きな感想も聞かれました。

声かけ・見守り・認知症への理解を 認知症ささえあい講座



講演する濱さん

説明する井元さん

徘徊高齢者等SOSネットワーク（徘徊などにより行方不明になった認知症の高齢者を警察や町を中心として捜索する仕組み）の説明が新得警察署の井元健二さんから行われ、第一部は終了。

第二部は、「ごつ接したらいいの？」と題し、医療法人社団博愛会介護老人保健福祉施設あかしの濱功行さんから認知症の方への対応について講演が行われました。

認知症の高齢者がとる行動についてのDVDを見た後に解説が行われ、その理由に参加者もうなづき、納得している様子でした。

濱さんは「認知症になったらどうするか」ではなく、「認知症になっても大丈夫」という地域にすることが大事」と話していました。



演奏を披露する大平さん

第55回しんとく女性の集い（町女性団体連絡協議会主催）が7月5日、町公民館で「心・つながり〜こころ豊かに、からだ元気に〜」をテーマに開かれ、町民約90人が参加しました。

開会式では、中井由利子会長が手話を交えてあいさつし、浜田正利町長と菊池康雄議長が祝辞を述べました。

午前の部では、「生の音楽の素晴らしさ」と題し、ヴァイオリニスト、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんを講師に招き、リサイタルを行いました。

リサイタルでは、バッハ作曲の「ガボット」やモーツァルト作曲の

演奏や手話で交流 第55回しんとく女性の集い



講師の齊藤さん

講師の岡田さん

「アイネクライネマハトマジック」などの曲が披露され、参加者はその演奏に酔いしれました。

午後の部では、「手話講習会」と「健康運動」を実施。

手話講習会では、岡田セツ子さんを講師として招き、日常会話の手話を学んだ他、「ふるさと」と「花は咲く」を大平さんのヴァイオリンの伴奏で手話で歌いました。

健康運動では、齊藤久恵さんを講師として招き、「ゆつくりたのしくからだを動かす」ことを題材に講話が行われ、椅子に座ったままでもできる上半身を使ったストレッチなどの軽い運動も行いました。



表彰を受ける桂田さん

平成27年度新得地方防犯協会連合会定期総会が7月6日、町公民館で行われ、防犯功労者表彰では新得から4名が表彰されました。

「北海道警察本部長・北海道防犯団体連合会理事表彰」として菜畑嘉彦さんと桂田勝さん、「新得警察署長・新得地方防犯協会連合会長表彰」として飯山俊夫さん、加藤喜美子さんが表彰されました。

菜畑さんは、昭和62年から新得防犯協会理事として他年にわたり組織の運営発展に尽力され、桂田さんは、平成11年から新得防犯協会理事、平成18年からは監事、平成21年からは副会長として多年にわたり組織の運営発展に尽力されています。

長年の功労に表彰 平成27年度防犯功労者表彰



講師の又原さん

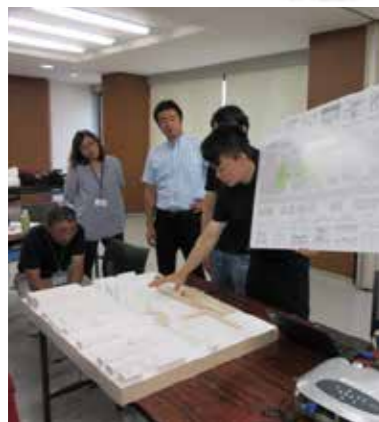
自主防災組織設立に向けた研修会が7月7日、町公民館で開かれ、町内会長ら17人が参加しました。

講師として防災士、北海道地域防災マスターの資格を持つ又原一幸町長が「なぜ自主防災組織が必要なのか」をテーマに講話が行われました。

又原さんは「今回をきっかけに自主防災組織について考えていただき、一つでも組織が立ち上がってほしいと思います」と話し、災害時の自主防災組織の役割や大切さ等の解説が行われました。

講話後には、総務課防災係より自主防災組織運営マニュアルの説明が行われました。

自然災害に備える 自主防災組織設立に向けた研修会



**首都圏の大学院生が
駅前未来像を提言
法政大学院生が駅前広場再
整備の提言のため来町**

法政大学大学院デザイン工学部建築学科の学生2人が7月26日、駅前広場再整備に対する提言を行いました。

学生らは6月10日から14日まで来町し、町内視察、町民との懇談や町民とのワークショップを通じて出た意見をまとめ、今回の提言として発表しました。

提言は「過ぎず駅前、出会う駅前」と題し、旅行者が十勝を感じられ、子供達も遊べる「丘の広場」や連続した屋根で駅舎、ロータリー、駐車場をつなげる「つなぎ屋根」などの斬新なアイデアが提案されました。

町では、この提言を今後の再整備計画の参考として活用しています。



**総額1億7250万円
町商工会がプレミアム商品券を
発売**

町商工会（湯浅悟史会長）は7月15日、15%のプレミアム付き商品券を発売しました。

総額はプレミアム分を含めて1億7250万円分で、1セット2万円、7500セットを用意。

9時の販売開始より前に、長蛇の列ができる人気ぶりです。「できるだけ多くの人に利用してもらいたい」という思いで購入限度を1人2セットまで限定しました。

商品券の残りは8月7日時点で5046セットとなっています。

商品券は町内の商工会会員全店とJA新得町の各事業所・店舗で利用できます。有効期限は7月15日（水）から12月15日（火）まで。



**みんなの憩いの場に
9月19日まで土曜市場オープン**

「朝採り野菜直売所とみんなの憩いの場土曜市場」（町農産物等直売会主催）が8月2日、農協駐車場オープンしました。

ブロッコリーやトマト、百合根など新鮮な地元野菜などが並び野菜直売所には、開店と同時にたくさんの方が訪れています。

この日は、交替わりイベントとしてJA青年部による新得パーカーの販売、JA女性部による乳製品大試食会、フリーマーケットも行われ、そちらにもお客さんが殺到しています。

土曜市場は、8月15日を除く9月19日までの毎週土曜日10時～14時まで開催されます。



〇お疲れ様・こぼれ様

右手こぶしの小指側で左腕を2回たたく



〇おみません・こぶれ様

右手親指の先をあごにあて、伸ばした4指を左右に軽く振る



〇おんこお願いさま

右手を開き、右親指の先を鼻先に置き、こぶしが前に出ないようにする

ひとつと手話講座

～No.14～



**新得幼稚園50周年で
園歌パネルが完成
創立50周年記念新得幼稚園
園歌パネル完成式**

昭和41年4月1日に創立し、今年度で50周年を迎えた新得幼稚園は7月17日、創立50周年を記念して園歌パネル完成式を行いました。

このパネルに書かれた園歌「しんとくようちえんのうた」は、平成18年に町内の福西加奈子さんが当時の園長から園歌が無いので作って欲しいとの要望を受けて作詞作曲をしました。福西さんは「幼稚園の1年間の楽しい行事が入った歌なので、好きになって歌って欲しい」と話していました。園児たちはパネルを見ながら大きな声で元気いっぱいに歌っていました。



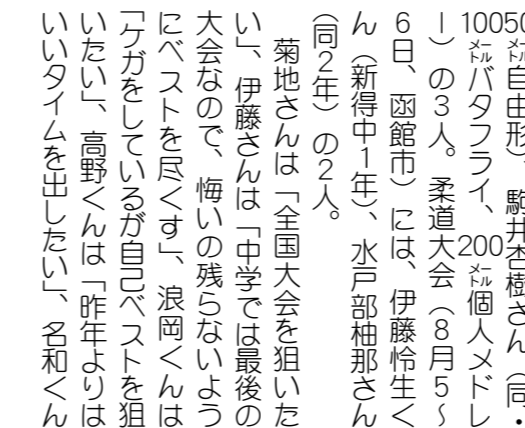
**自分のベストを尽くして頑張れ！
小学生、中学生が全国大会や北海道大会へ**

新小6年池田泰輔くんがバトミントンで全国大会へ

第16回全国小学生ABCバトミントン大会北海道予選会（6月27～28日、深川市）のシングルで優勝し、全国大会への切符を手にした新得小6年の池田泰輔くんが7月10日、町長室を訪れ、浜田正利町長に全国大会での健闘を誓いました。

全国大会は、8月14～16日に熊本県八代市で行われます。

全国大会初出場の池田くんは「一つでも多く勝てるように頑張る」と意気込みを語り、浜田町長は「体調管理に気をつけてベストを尽くして頑張って」と激励しました。



陸上大会（7月28～30日、室蘭市）に出場するのは、菊地ひかりさん（新中3年・走り幅跳び）、伊藤穂乃佳さん（同・800m、1500m）、浪岡大睦くん（屈足中3年・走り高跳び）の3人。水泳大会（7月24～26日、江別市）には、高野裕くん（新得中2年・200m自由形、400m自由形、名和真輝くん（同・50m自由形）、駒井杏樹さん（同・100mバタフライ、200m個人メドレー）の3人。柔道大会（8月5～6日、函館市）には、伊藤怜生くん（新得中1年、水戸部柚那さん（同2年）の2人。

菊地さんは「全国大会を狙いたい」、伊藤さんは「中学では最後の大会なので、悔いの残らないようにベストを尽くす」、浪岡くんは「ケガをしているが自己ベストを狙いたい」、高野くんは「昨年よりはいいタイムを出したい」、名和くん



は「自己ベストより早く泳ぎたい」、駒井さんは「昨年より上位を狙いたい」、伊藤くんは「できるだけ上位を狙いたい」、水戸部さんは「ケガをしているが、1回でも多く勝ちたい」と健闘を誓いました。

斎藤教育長は「自己ベストのタイムや順位を更新できるように、思う存分力を発揮して頑張ってください」と激励しました。

深まる地域の和

第3回屈足地域運動会



今年で3回目となった「屈足地域運動会」(実行委員会主催)が7月26日、屈足南小体育館で開催され、屈足地域の住民約150人が参加しました。

この日はあいにくの天気ですが、昨年引き続き体育館での開催となりましたが、参加者は大玉リレーやパン食い競争、玉入れなどの多彩な種目を4チームに分かれて楽しく競いました。

競技の合間には新得音頭保存会の皆さんと新得音頭を踊る場面も。

運動会終了後の屋台交流では、体育館の外で焼き鳥やうどん、フライドポテトなども提供され、参加者同士の交流を深めていました。



話題のアルバム

OBらも参加で賑やかにパレード

第52回新高祭あんどんパレード

新得高校(田中延和校長)の第52回新高祭「この瞬間に～It's show time」が7月11、12日の2日間にわたり開催されました。

1日目の夕方には、各クラスがこの日のために製作した行灯3基と、昨年引き続き今年も新得高校のOBらが行灯1基を製作し、全4基の行灯が市街地を練り歩き、アピール会場であるなごみ前駐車場を目指しました。アピール会場では、大勢の町民や保護者が集まり、生徒をお出迎え。生徒やOBらは、それぞれ製作した行灯や衣装をアピールし、観客からは拍手や歓声がわき起こっていました。



上の写真：行灯や衣装をアピールする高校生
左の写真：新得高校OBの行灯

まらの出来事をビッグアップ

図書館に親しんで

第3回図書館まつり

図書館に親しんでもらうことを目的とした恒例の「図書館まつり」が8月1日、町図書館で開催されました。

Eテレ「つくってあそぼう」の造形スタッフとして活躍し、全国で工作のワークショップを開催している造形作家の丸林佐和子さんを講師に迎え、幼児から大人までの約50人がカップドール作りや黒板作りを楽しみました。

黒板作りに参加した戎家麻紀さんは「切ったり、塗ったりがとても楽しかったのでこれから少しずつ大工道具を揃えてDIYに挑戦したい」と話していました。



駅前広場で一休みしませんか？

2015 駅前まるしえ

2015 駅前まるしえ(いらっしやいしんとく発見隊主催)が7月28日、駅前広場で開催されました。

新得に訪れる観光客のおもてなし、町民の休憩の場、そして、観光客と町民のふれあいの場として開催され、8月11日、25日にも開催される予定となっています。

店ではかりかち工房の小物、BEWILDのコーヒーやケーキ、ごりらのしっぽのカステラのほか、焼きとうきびなどが販売され、この日限定で販売された堆肥は、開店30分でほとんど売れてしまうほどの大人気。

いらっしやいしんとく発見隊の岡田元成隊長は、「のんびりとした一時を味わってもらえれば」と話していました。



「十分頂戴いたしました」

新得高校茶道部が児童館を訪問

新得高校茶道部の貴戸裕佳部長(3年生)ら部員5人と顧問の先生が7月22日、子どもセンターなかよしでお茶会を開き、児童29人が参加しました。

児童らは甘いお菓子を食べたあと茶道部員が点てたお茶で一服。

飲み終えたあとに部員に「もう一服いかがですか」と尋ねられると、児童らは「十分頂戴いたしました」と礼儀正しく受け答えしていました。

貴戸部長は「苦いと言われる時もありますけど、美味しいと言ってくれると嬉しい」と話していました。

セリフに頼らない人形劇に魅了

人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ

人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」の「森と夜と世界の果てへの旅」の公演が7月22日、公民館で開催され約150人の観客が来場しました。

同人形劇団は「きこえないひと」と「きこえるひと」が一緒に作り上げていく、世界でたった一つの人形劇団で、障がいの有無に関わらず楽しめる人形劇を創っています。

この日も人形と人の体、生演奏、音声、手話、字幕、映像を駆使した表現で多くの観客を魅了していました。



まちの先生から教わる3日間

夏休みなかよし学習塾



7月29日から7月31日にかけて、町内の小学生を対象とした「夏休みなかよし学習塾（全町教育推進本部主催）」が新得小学校で開かれ、延べ235人が参加しました。

この事業は、地域の教育力を活用し、子どもの学習意欲の向上と、学校と地域の連携を図ることを目的としており、今年で6回目。延べ228人の地域ボランティアの方々の協力を得て行われました。

29日は学年別の算数の勉強のほかに、グループ別に1、2年生は新聞ホッケーと理科実験、3年生以上は押し花絵額づくりや刺繍小物づくり、料理作りなど5つに分かれて希望する講座を受けました。

その後はボランティアと児童、この日参加した全員でフォークダンスを踊って盛り上がりしました。

お昼ご飯では高学年の児童が作ったやきそばパンやタマゴパン、ホットドックを食べました。

話題のアルバム

狩勝高原を満喫しませんか？

狩勝高原庭園鉄道がオープン

町狩勝高原庭園鉄道が7月18日にオープンしました。7月18日～20日にはみんなで乗れる15インチ鉄道が登場。このほか子供たちに人気のあるミニチュア鉄道が走り、無料レジャーグッズのレンタルもあり、3日間で571名の来場がありました。

オープン前の7月4日には「プランターづくり&ピクニック」が行われ、華やかなプランターで庭園鉄道を飾りました。最初にソバスコーン作りを行い、焼けるのを待つ間にプランター作り。それが終わってからソバスコーンや鹿肉ソーセージでピクニックを行って楽しみました。

また、8月2日には、葉にある維管束だけを残し、カラフルに色をつけてオリジナルのしおりやアクセサリを作る「葉脈標本づくり」も行われ、4名が参加しました。

庭園鉄道の営業は8月31日まで。



新鮮な野菜はいかが？

農協もぎたてテント市

今年もAコープ新得店前で「農協もぎたてテント市」が開催されています。9月までの毎月第2火曜日に開催され、今回は取れたてのズッキーニやトマト、レタスなど10種類以上の野菜が並べられていました。

自ら野菜を販売するのは、屈足の羽場タカ子さん、戸塚裕子さん、村中順子さんの3人。10年以上同じ場所で販売を続けています。

今年2回目となる7月14日の開催では、新鮮な野菜を買おうと開店直後にお客さんが訪れていました。



歌を通じて交流を

チャリティー 新得歌謡合同発表会

第3回チャリティー新得歌謡合同発表会が7月12日、町公民館で開かれました。

今回の発表会には、32組36人が参加。会場には100人以上の観客が詰めかけ、日頃の練習の成果に耳を傾けました。

同発表会では、昨年に引き続き募金を行っており、今回は81,973円が集まりました。この善意は新得町社会福祉協議会へ寄付されました。

まきの出来事をビッグアップ

厳しい日差しの中でも快走

第32回狩勝サマーロードレース

第32回狩勝サマーロードレース（町陸上競技協会主催）が7月19日、サホロリバーサイド運動広場芝生ランニングコースで行われました。道内各地から集まった小学生から70代までの男女186人が出場。1.7km、2.5km、3.5km、5.275km、10.549kmの5種目で学年や年齢別でタイムを競いました。

最高気温が30度を超える厳しい暑さの中、ランナーは自己ベストを目指し、懸命な走りを見せ、観客側の応援にも熱が入っていました。



20周年を祝い、大勢が参集

レディースファームスクール20周年記念

レディースファームスクール20周年記念イベント「ありがとう！20周年だべさ」交流会（ミルクネットの会主催）が7月19日、町公民館で開かれ、全国各地の修了生、元管理人、元担当者など約150人が集まり、20周年を祝いました。

会場の壁には、スクールの修了生で組織するミルクネットの会が発行している会報「まきばの乙女」のほか、かくし芸大会の映像や各期の写真、お祝いのコメントが並べられていました。

交流会では、スクリーンに各期ごとの思い出の写真が披露され、久しぶりに集まった修了生や関係者は、思い出話に花を咲かせていました。最後にはビンゴ大会が行われ、大盛り上がりで交流会は終了しました。



先月号に引き続き今月号も、今後の動きについて強い期待を持っていくことを紹介します。

1点目は、7月17日に北海道消防学校（江別市）において北海道消防操法訓練大会が開催され「屈足消防団（若原出場隊長他5名）」が十勝代表として平成11年以来16年ぶりの出場になりました。炎天下の中、全道から12チームが参加し、屈足消防団は3番目に登場。全体を通して来賓席の中では評判が良く、期待を込めて結果を待ちましたが残念ながら6位でした。春先から訓練を重ね、仕上がりが良かったこともあり、不本意な結果に団員からは悔しさがにじみ出ていました。そんな悔しがる姿が、地域の人口減の中でも、これからの屈足消防団活動には何も不安の無い、期待の持てる消防団に写り、今後の活躍を強く感じたところです。

町長室から こんにちは

新得町長 浜田正利

2点目は、7月19日に農業研修施設「レディースファームスクール」の設立20周年記念イベント「ありがとう！20周年だべさ〜」が開催されました。同スクールは平成8年8月2日、全国発の女性専用農業研修施設としてスタートしました。昨年度の19期生までに長期生161名が修了、短期研修生は33名の受け入れをさせていただきました。そのうち41名が町内、47名が道内に在住しています。20周年を迎えられたのは、研修生自身の頑張りはもちろんですが、研修生を受け入れていただいた農家の皆さん、地域、関係機関の相互の支え合いがあればこそと考えており、改めて感謝申し上げます。スクール、そして研修生の存在は町の宝と考えていますので、町民の皆さんには、これからもスクール運営に特段のご協力をお願いするとともに、修了生は農業の応援団として今まで以上のご協力をお願いいたします。

3点目は、新得町が抱える課題の一つに、街中の賑わいを再生するための駅前再整備構想の検討を進めています。一つの方策として、昨年からお付き合いのありました法政大学（網野研究室）の若者の客観的視点からのご意見をお願いしました。7月26日に網野教授と学生2名が来町され、春先からの町民のみなさんとの懇談を踏まえた提言をいただきました。この提言を参考にしながら再整備に向けた素案をみなさんにお示しをしていきたいと思っております。



通学路に立ち、登校中の子供たちに「おはよう」と声をかける石黒さん。

顔のそと

No.404

子供たちの 元気なあいさつが 『すきやき隊』活動の 活力になる

「おはよう」という声かけで「おはようございます」と子供たちから元気なあいさつが返ってくる。毎朝、登校中の子供たちに元気な声をかけるのは、『新得すきやき隊』の目配り隊員として、通学路に立ち、子どもたちの安全を見守り続ける石黒一雄さん。

石黒さんは父が国鉄に勤める家庭に生まれ、4人きょうだいの長男として育った。

雨の日も雪の日も毎朝、子供たちの通学路に立っている石黒さんは「自分が小学生の頃は、まだここに道が無く一面が畑で、駅裏にあった国鉄機関区前の道路を通って遠回りして小学校に通うしかなかったんだよね。でも、たまに近道するのには畑の中を横断して行ったこともあったなあ」と子供たちを見ながら懐かしそうに話した。

新得高校卒業後、大学に進学のため上京し、就職したが、その会社が倒産したため、地元にある会社にと考え、池内ベニアに就職した。

「入社する際、新得の工場が再



いしぐろ かずお 一雄さん (64歳) 西栄会

開するということでも就職を決めたんだね。結局、再開しなかったんだよね。それで本社のある静内町の工場に勤務することになったさ。会社を定年になるまでずっと静内町に住んでいたのさ」と話す。

4年前に定年退職し、40数年ぶりに新得に戻ってきた。

「父親が」になるまで、やすらぎ荘でお世話になってただけで、元来、父親は寂しがり屋なところがあつたさ。だから、自分が毎週のように土日は静内町から新得に帰ってきたんだよね。こちらに仕事があれば良かったんだけど無かったし、向こうの仕事は辞める訳にもいかなかったしね」と話す。

写真を撮ったり、油絵を描いたりするのが好きで、美術館などにも足を運ぶと言つ、「高校生の時に油絵を始めて大学生まで描いていたんだけど、就職してからやらなくなつたね。退職してからまた始めたけど、何十年も描いてなかったから、なかなか上手く描けないし、他の人に見せられるような出来栄の作品じゃないから、描き終わったら自分で見て楽しんでいるよ」と笑いながら話

す。

『新得すきやき隊』は、町民のボランティアによる声かけや見守り、子育てをサポートする組織として、平成18年2月に発足した。

「すきやき隊の活動を始めたのは昔からの近所の知り合いに、退職して時間があるから、やってみないか？って誘われてね。もう4年くらいやっているかな。最初はこんなに続けられるとは思っていなかったよ。笑。自主的に立ち上がった組織なので活動はあくまでもボランティア。継続していくのが一番大事だよ」と話す。

「おはよう」と言つたら、元気良く「おはよう」と返ってくる。子供たちはみんな礼儀正しいよ。髪を切ったりした後には、子供たちから『髪切つたね』とか話かけられたりするしね。そんな些細なことでもこつた活動の励みになっているよ。体が続く限りは続けていきたいかな」といかに話す。

「今、すきやき隊のメンバーもだんだん高齢になってきて、活動できる方が少なくなつてきているので、そこがちょっと心配ですね。子供たちのために少しでも力を貸してくれるメンバーを募集しています」と話す。

この活動に興味のある方は、役場児童保育課（子どもセンター）なかつ内64-6940までご連絡を。

短歌

新得短歌会

- 人知れず静かに咲く花凜として
自分のために生きていくだけ
岡田御狸裸
- 細き茎にむらさきの小花あまたつけ
ラベンダーの花揺れて香れり
高橋 幸子
- 初夏の風吹かれて午後の音楽会
緑の木立夢のひと時
菊地 康雄
- そよ風が鳴らす風鈴亡きひとの
買ひし想ひがめぐる刹那に
齊藤美代子
- 行灯からむ熱気を引剥げ声
高らかに張り練り歩く宵
樋口かおり
- 留守宅の紫陽花のはな冴えて
滴ゆらしつ初夏の夕ぐれ
船場 君子
- 鎌を研ぐ術など知りて草を刈る
それも喜び隣地の境
渡辺 征子
- 真青なる東の空に浮雲の
形くずさず果てなく続く
羽場タカ子

俳句

新得俳句同好会

- 初もぎの曲りきゅうりの歯切れよし
八木 育子
- 胡瓜もみ見合いの妻と共に老い
袴田ゆき男
- なつかしき屋号入りたる古団扇
西川 勝仙
- 戦争を知らぬ学童夏の雨
月井 愁峰
- 目薬の一滴焦げる空がある
高橋 民女
- 石南花の誇らしく咲く狭庭かな
齊藤 青苔
- 香り割く臨時列車にラベンダー
大崎かずお
- 村の間幾何学模様星涼し
中島 土方



9月のカレンダー

昨年の秋まつり縄跳びの様子



9月の納期限は 固定資産税第3期、国民健康
保険税第3期、後期高齢者医療保険料普通徴収第3期、介護保険料
普通徴収第3期、上・下水道使用料 (8月~9月分)
25日まで

1 火	介護・ものわすれ相談(なごみ)9:00 子育て相談(なかよし)10:00	11 金	くつたり秋まつり 健康相談(屈足)10:00 寿教室(公民館)10:00 移動図書館車かりかち号運行	21 月	秋の全国交通安全運動 30日まで
2 水	健康・栄養相談(なごみ)10:00	12 土	すぎやまこうじシャボン玉ショー 10:30	22 火	
3 木	健康相談(屈足)10:00	13 日		23 水	オダッシュ山町民登山会
4 金		14 月		24 木	健康相談(屈足)10:00 第20回しんとくフロアカーリング大会 屈足地区予選(屈足南小体育館)19:00 移動図書館車かりかち号運行
5 土	町民水泳大会 13:30 花火大会開催 19:00	15 火	乳幼児健診(なごみ)13:00	25 金	おはなし会(なかよし)15:15 移動図書館車かりかち号運行
6 日		16 水	健康相談・栄養相談(なごみ)10:00 第20回しんとくフロアカーリング大会 屈足地区予選(屈足南小体育館)19:00	26 土	
7 月	開町記念式典(公民館)10:00 乳幼児相談(屈足)10:00 新得秋まつり	17 木	第20回しんとくフロアカーリング大会 新得地区予選(町民体育館)19:00 健康相談(屈足)10:00	27 日	第14回しんとく新そば祭り
8 火	新得秋まつり	18 金		28 月	第20回しんとくフロアカーリング大会 新得地区予選(町民体育館)19:00
9 水	健康・栄養相談(なごみ)10:00	19 土	育児の日 土曜おはなし会(図書館)14:00	29 火	1歳6ヶ月健診(なごみ)10:30
10 木	くつたり秋まつり おはなし会(なかよし)15:15 にこにこタッチ(なかよし)10:15 移動図書館車かりかち号運行	20 日		30 水	新得わすれん塾(なごみ)9:00 健康相談・栄養相談(なごみ)10:00

すくすく 赤ちゃん



たかしま たいせい
高嶋 大聖くん
平成27年1月15日生
パパ 聖剛 ママ 真理子
中和会



かねた せら
金田 星来ちゃん
平成27年1月18日生
パパ 亮介 ママ 智美
新友会